

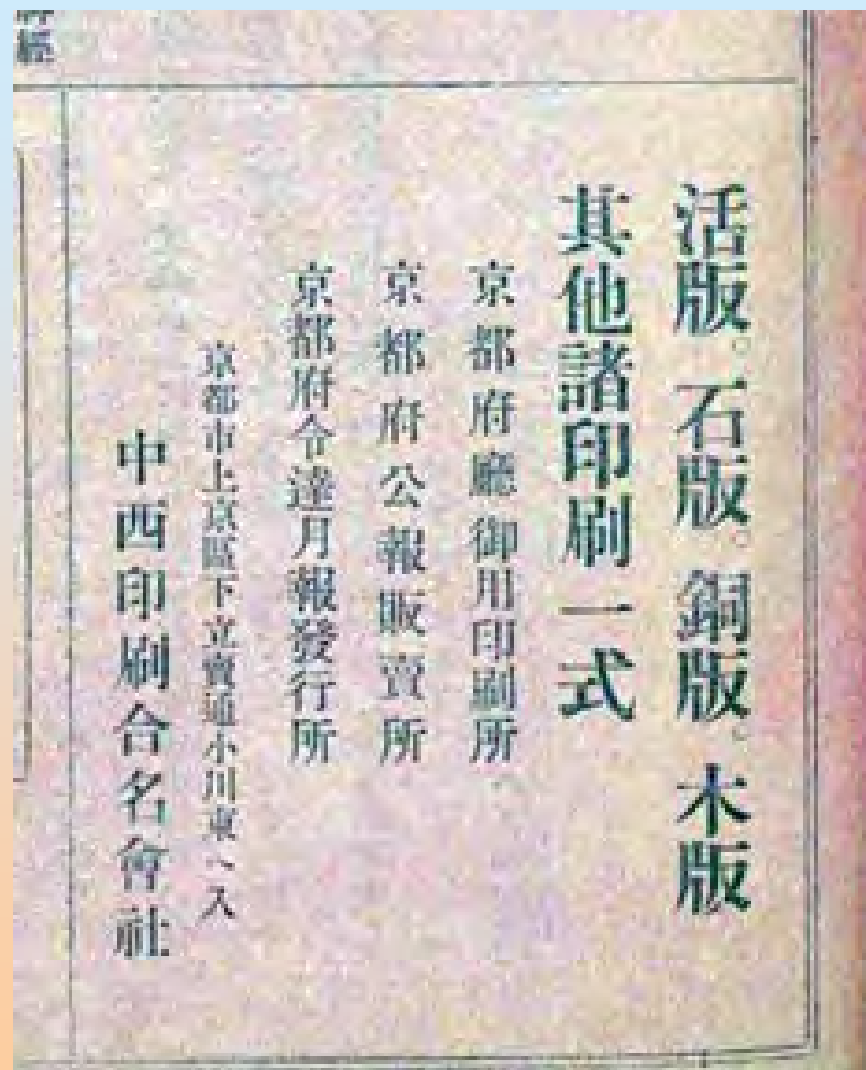
日本の電子ジャーナルの草分け： 中西印刷の冒険

2020年1月15日
JEPA XSPA 共催セミナー
中西秀彦
中西印刷株式会社



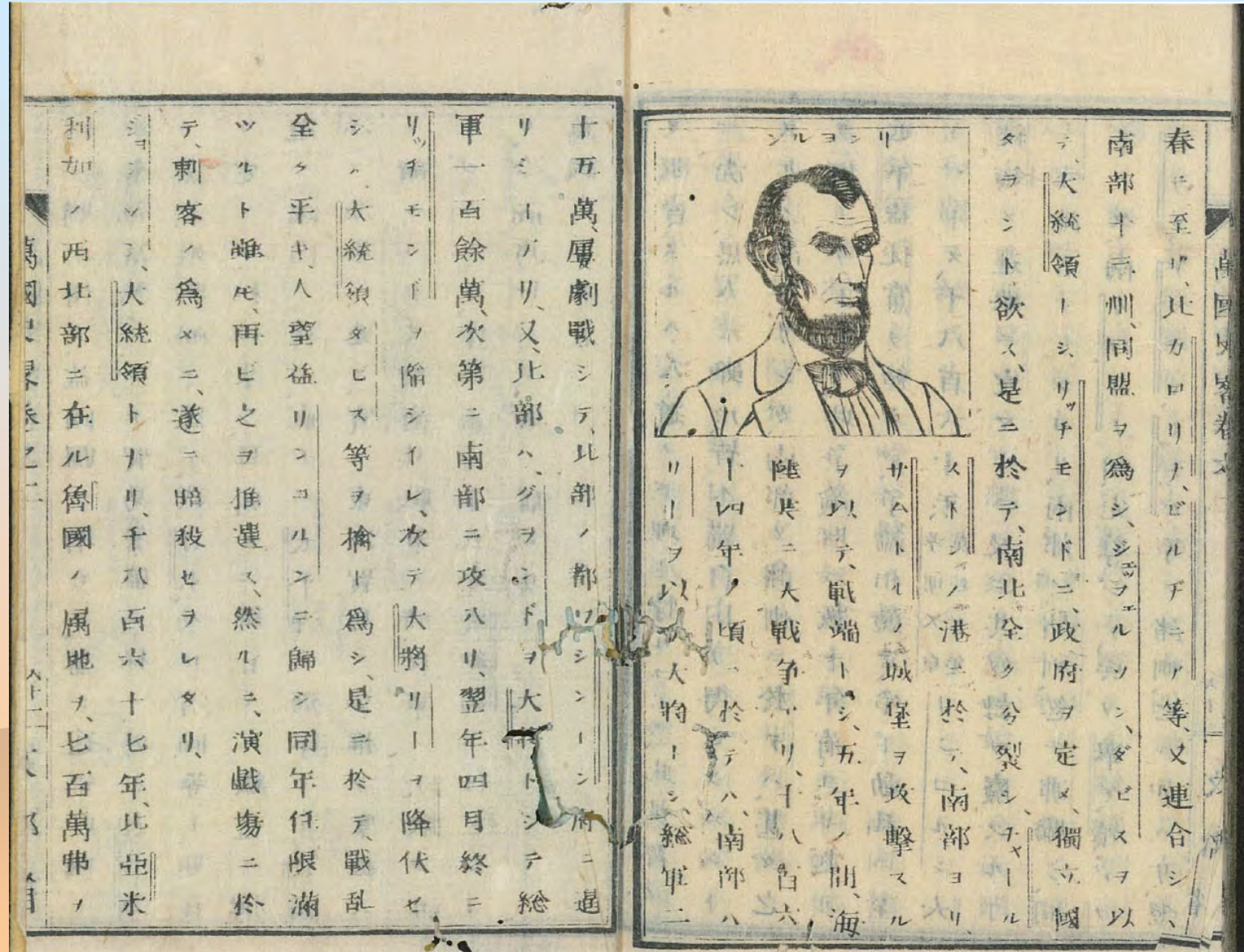
中西印刷の技術変遷

- ・ 書肆 著屋嘉助 — 中西松香堂
 - 木版印刷 1865年(慶応元年)-1898年
- ・ 中西活版所
 - 活版印刷 1883年(明治15年)-1901年
- ・ 中西印刷合名会社
 - 活版印刷 1901年(明治34年)-1953年
- ・ 中西印刷株式会社
 - 活版印刷 1953年(昭和28年)-1992年
 - 平版印刷 1986年(昭和61年)-
 - 電子組版 1986年-
 - デジタル印刷 1998年(平成10年)-
 - 電子ジャーナル 1999年(平成11年)-



医学中央雑誌に載った広告 1903年

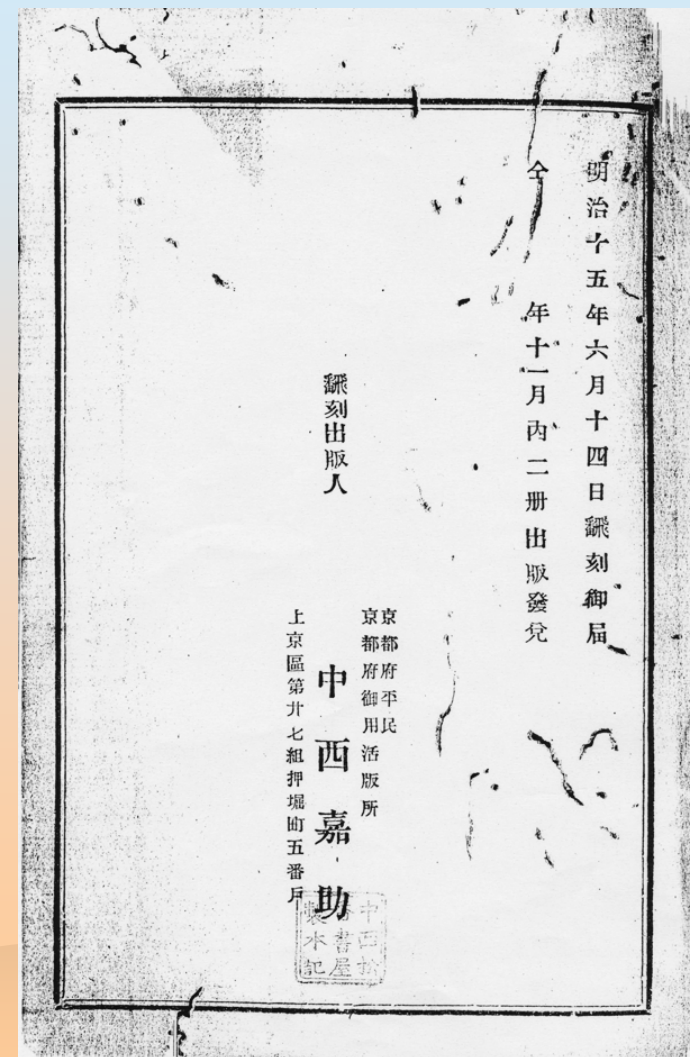
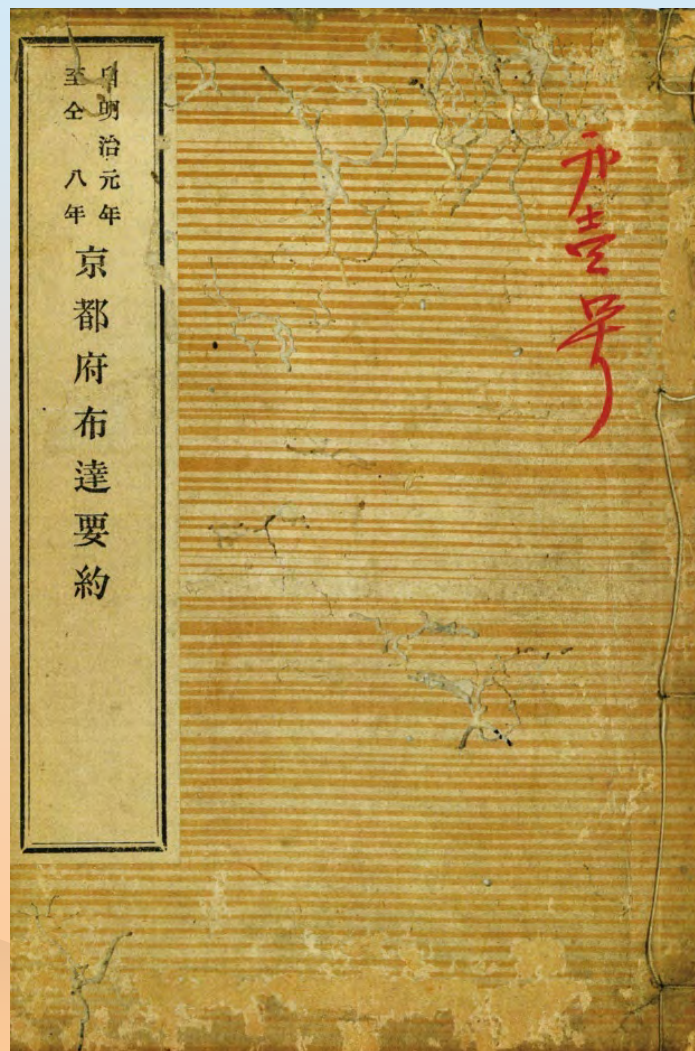
木版『万国史略』 明治7年



京都府立歴彩館 蔵
2019年京都府立歴彩館の調
査であらたに判明

中西印刷所蔵最古活版『京都府布達要約』

- ❁ 明治15年活版化
- ❁ 「京都府御用」の記載
- ❁ 府庁の印刷物を手がける



戦後 公官庁印刷から学術書専門へ

事業拡大機運

- 売り上げの6割が学会
- 大学もいれると8割が学術関係
- 学会こそが中西が生きる道

$$\begin{aligned} U_l M^l U_l^{-1} &= \text{diag}[m_e, m_\mu, m_\tau], \\ U_\nu M^\nu U_\nu^{-1} &= \text{diag}[m_1, m_2, m_3]. \end{aligned} \quad (3)$$

We present the unitary matrix neglecting the CP violation phases as

$$\begin{aligned} U &= e^{i\theta_{23}\lambda_7} e^{i\theta_{13}\lambda_5} e^{i\theta_{12}\lambda_2} \\ &= \begin{pmatrix} c_{12}^\nu c_{13}^\nu & s_{12}^\nu c_{13}^\nu & s_{13}^\nu \\ -s_{12}^\nu c_{23}^\nu - c_{12}^\nu s_{23}^\nu s_{13}^\nu & c_{12}^\nu c_{23}^\nu - s_{12}^\nu s_{23}^\nu s_{13}^\nu & s_{23}^\nu c_{13}^\nu \\ s_{12}^\nu s_{23}^\nu - c_{12}^\nu c_{23}^\nu s_{13}^\nu & -c_{12}^\nu s_{23}^\nu - s_{12}^\nu c_{23}^\nu s_{13}^\nu & c_{23}^\nu c_{13}^\nu \end{pmatrix}, \end{aligned} \quad (4)$$
$$c_{ij}^\nu = \cos \theta_{ij}^\nu, \quad s_{ij}^\nu = \sin \theta_{ij}^\nu,$$

where the λ_i are the Gell-Mann matrices.

Progress of Theoretical Physics ノーベル賞輩出誌

大日本古文書 (東京大学史料編纂所)

古文書印刷とデータベースの統合

在地立券一通 天養元年大和國御檢注時、依被免除寺領坪と
檢注狀、在領主・作人連判、
負名作人注文一通 同年寺領坪と目錄并作人注狀、
在領主・作人連判、
負名と寄一通 同年本免之外、加納・余田・家地・作畠才可并
之由、在領主・作人連判、
國郡立券狀一通 平治元年國使・寺使相共
立券
坪と作人注文一通 同年負名作人檢注之狀、
即作人連判
在

活版からの転換

❁ 1985 実家に就職して目にした工場の実態。

- 完璧な職人芸ながらも、未来の印刷業たりうるかどうか



変革への努力

- ❁ 活版の自動化 機械化
- ❁ モノタイプとライノタイプ
- ❁ 父の執念
 - 活版という枠内での変革
- ❁ 活版組版校正機
 - ワープロで入力して活版で出力する
- ❁ 旺盛な印刷組版需要 おいつかない供給1970年代

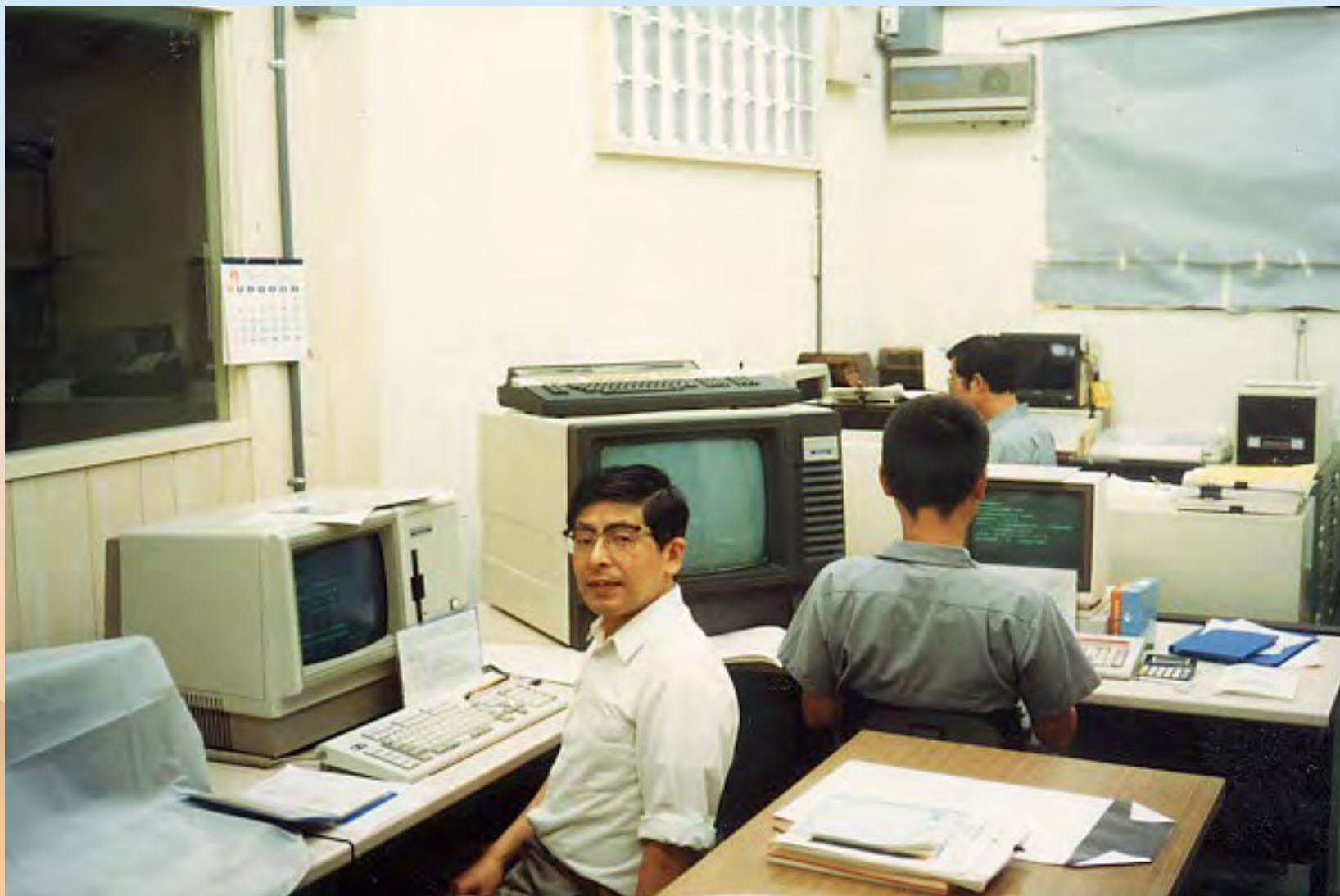


活字の限界

- ❁ 活版自動化の限界
 - 最後には手先の器用な職人が必要となる
- ❁ 活版印刷機ではスピードがあがらない。
- ❁ 電算写植の勃興
 - 超精密ワープロ
 - 1980年代急激に浸透



電算写植の導入



電算写植での挑戦

- ❁ 活版職人の転職
 - 活字をキーボードにもちかえて
 - あまりの変化
- ❁ 活版のような電算組版へ
 - 電算の技術と活版の技の両立
- ❁ 活版時代の組版の復活
 - 各種言語学組版
 - 数式組版
 - 古文書組版



俺の代の革新は終わった



- ❁ コンピュータで組版して紙に印刷という方法の確立
- ❁ UNIXマシンの活用など効率化のみが今後の課題
- ❁ 38歳にして引退計画



晴天の霹靂

❁ インターネットの登場(1995)

—情報を伝達するのに紙はいらない

❁ それでも最初はPDFをネットにあげることだと思っていた。

❁ お得意様から学会誌をオンラインジャーナル(電子ジャーナル)へ転換したいという相談

❁ おんらいんじゃーなる？

—WWWサイトを定期的に更新

- データベースの役割
- PDFでなく、WEBページそのもの





Plant & Cell Physiology

OXFORD
Journals online

[Register here for your FREE custom alerts](#)



View Current Issue

April 2004

The next issue is scheduled for online publication in: May

free
sample issue

Search for Articles

Browse the Archive

Email notification of TOCs

Online
Submission

[ABOUT THE JOURNAL](#) [SUBSCRIPTIONS](#) [INSTRUCTIONS TO AUTHORS](#)
[EDITORS](#) [ADVERTISING RATES](#) [RELATED LINKS](#)

Other Oxford University Press journals that may be of interest:

[Journal of Experimental Botany](#)

ANNALS OF BOTANY
OXFORD JOURNALS

IMPORTANT CHANGES TO
YOUR ONLINE ACCESS

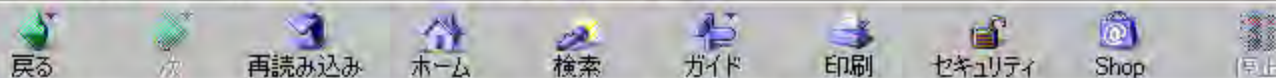
Gilmartin:
Molecular Plant Biology

LIBRARY
recommendation form

Plant and Cell Physiology is published for [The Japanese Society of Plant Physiologists](#) by [Oxford University Press](#) assisted by Stanford University Libraries' [HighWire Press](#)

Copyright © 2004 [The Japanese Society of Plant Physiologists](#).

Online ISSN: 1471-9053



Plant & Cell Physiology

OXFORD
Journals online

[HOME](#) [HELP](#) [FEEDBACK](#) [SUBSCRIPTIONS](#) [ARCHIVE](#) [SEARCH](#) [TABLE OF CONTENTS](#)

Plant and Cell Physiology, 2000, Vol. 41, No. 7 825-830
(C) 2000 [Oxford University Press](#)

Phytosulfokine- α , a Peptide Growth Factor Found in Higher Plants: Its Structure, Functions, Precursor and Receptors

Heping Yang, Yoshikatsu Matsubayashi, Hidetoshi Hanai and Youji Sakagami¹

Laboratory of Bioactive Natural Product Chemistry, Graduate School of Bio-Agricultural Sciences, Nagoya University, Chikusa, Nagoya, Aichi, 464-8601 Japan

Phytosulfokine- α , a sulfated pentapeptide growth factor universally found in both monocotyledons and dicotyledons, strongly promotes proliferation of plant cells in culture. It is similar to animal polypeptide hormones in that it is processed from a larger precursor, prephytosulfokine, although the putative processing sites do not conform to consensus sequences for endoproteolytic processing sites flanking animal prohormones. Like the animal prohormones, prephytosulfokine also has a signal peptide at the N-terminus for targeting to secretory pathways. The prephytosulfokine gene has been confirmed to be expressed in vivo as well as in vitro.

¹ Corresponding author: E-mail, ysaka@agr.nagoya-u.ac.jp; Fax, +81-52-789-4118.

[HOME](#) [HELP](#) [FEEDBACK](#) [SUBSCRIPTIONS](#) [ARCHIVE](#) [SEARCH](#) [TABLE OF CONTENTS](#)

Copyright (C) 2000 The Japanese Society of Plant Physiologists.

- ▶ [Full Text of this Article](#)
- ▶ [Reprint \(PDF\) Version of this Article](#)
- ▶ Similar articles found in:
[PCP Online](#)
- ▶ Search Medline for articles by:
[Yang, H.](#) || [Sakagami, Y.](#)
- ▶ Search **Agricola** for articles by:
[Yang, H.](#) || [Sakagami, Y.](#)

[\[HELP with high resolution image viewing\]](#) [\[Return to Article\]](#)

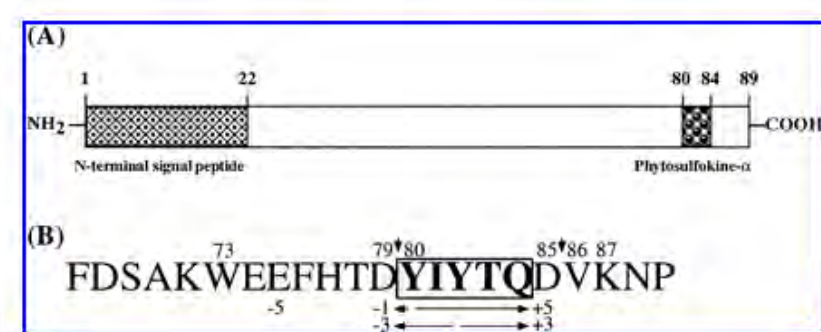


Fig. 1 Precursor protein structure of PSK- α . (A) Structure of preprophytosulfokine, with important domains: the potential N-terminal signal peptide and the active oligopeptide, PSK- α , are highlighted. (B) Amino acid sequence around PSK- α . The PSK- α sequence is boxed. The positions referring to the tyrosine residues of the acidic amino acids near PSK- α are indicated below the sequence. The putative processing sites bordering PSK- α are marked with arrowheads.

[\[Return to Article\]](#)

英 Oxford Journalsとの提携 1999

- 日本でオンラインジャーナルが作れるのか？
- Oxfordイギリスへ跳ぶ
- 日本で製作の確約 やるしかない



Oxford 大学キャンパス



Oxford Journalsとの提携交渉

全社あげてオンラインへの取組



- ⚙️ Oxfordから技術者来日
- ⚙️ 集中特訓

SGML技術の習得

オンライン組版と紙印刷の考え方の違い

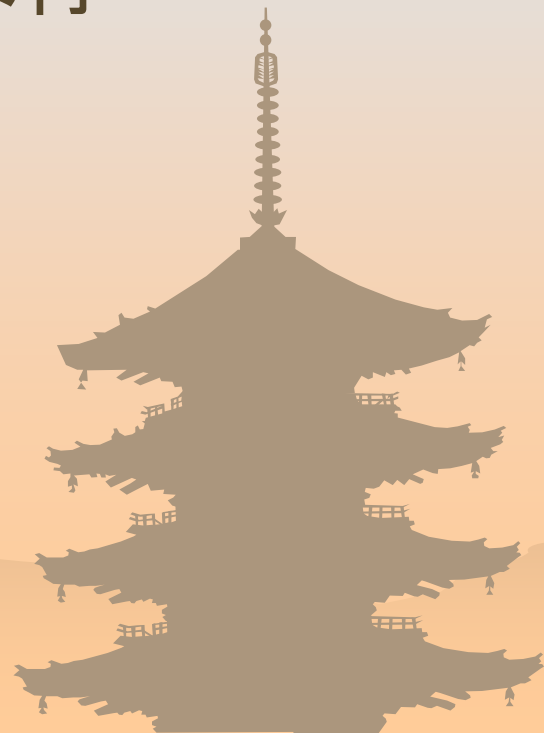
Oxford Ruleはどうなるのか？

日本で唯一の技術力を目指して

PDFジャーナルはオンラインジャーナルとは呼ばない

オンラインジャーナルのメリット

- ❁ 文献がいながらにして閲覧できる
 - 図書館まで行く必要がない
- ❁ 検索機能が充実
 - 引用文献ネットワークの積極的利用
- ❁ 動画やデータベースへのリンクなど新たな付加価値
- ❁ 費用の節約
 - 郵送料がかからない
 - 印刷代が節約できる
 - 書架が節約できる



データベース優先の要請

- ❁ 表現形式と構造の分離
- ❁ PDFからXML(SGML)記載へ

`<title>`オンラインジャーナルにおける機械可読性優位組版—オンラインジャーナル作成現場からの提言`</title>``<author>` 中西秀彦`</author>``<affiliation>` 中西印刷株式会社`</affiliation>``<abstract>`機械可読性とは文書形式を整えることで、コンピュータが書籍・雑誌等の文書を取り扱いやすくすることである。コンピュータのデータベースは、元来、それぞれの目的に合わせ設計され相互に互換性がなかったが、インターネットの時代になって相互に利用することが現実的となってきた。この文書の互換性つまり機械可読性を追求することで文書はより利用しやすくなる。逆に言えば、機械可読性を考慮しない文書は流通にくい。オンラインジャーナルにおいては機械可読性を考慮した組版が主流になりつつあるが、機械可読性と人間可読性は往々にして対立する。本発表では、これらの対立の事例を検討しつつ、オンラインジャーナルでは当面、機械可読性優位の組版が行われるべきであることを示唆する。`</abstract>``<keyword>`"機械可読性", "Machine Readability", "XML", "オンラインジャーナル"`</keyword>``<subtitle1>`はじめに 機械可読性とは`</subtitle1>``<p>`機械可読性ということが問題になるのは、文書をコンピュータで扱うことが可能になって以後の現象であることは論を待たない。機械可読性はまず書誌データベースの問題としてたちあられてきた。MARC(Machine Readable Cataloging)である。まさにMACHINE Readable(機械可読)なカタログであり、図書館カードで行われてきた書誌データベースをコンピュータで作成し、検索や整理をコンピュータを通じて行うようにしたものである。

当初書誌データの作成は、文書そのものの作成とは独立して考えられてきた。文書は文書として作られ、書誌は図書館等において独立して文書整理のために作成されることが普通だった1)。やがて、このMachine Readabilityを文書の作成当初から考慮し、書誌データとして役にたつような形式での提供が考えられるようになった。特に、学術文献においては、膨大な資料の中から適切な情報を探し出す必要と資料そのものがより引用されることが重要視されるため、みずから積極的な書誌情報の提供を行うようになっていく2)。

オンラインジャーナルにおける機械可読性優位組版

中西秀彦

中西印刷株式会社

【発表概要】

機械可読性とは文書形式を整えることで、コンピュータが書籍・雑誌等の文書を取り扱いやすくすることである。コンピュータのデータベースは、元来、それぞれの目的に合わせ設計され相互に互換性がなかったが、インターネットの時代になって相互に利用することが現実的となってきた。

オンラインジャーナルにおける機械可読性優位組版

中西秀彦

中西印刷株式会社

【発表概要】

機械可読性とは文書形式を整えることで、コンピュータが書籍・雑誌等の文書を取り扱いやすくすることである。コンピュータのデータベースは、元来、それぞれの目的に合わせ設計され相互に互換性がなかったが、インターネットの時代になって相互に利用することが現実的となってきた。

オンラインジャーナルにおける機械可読性優位組版

中西秀彦

中西印刷株式会社

機械可読性とは文書形式を整えることで、コンピュータが書籍・雑誌等の文書を取り扱いやすくすることである。コンピュータのデータベースは、元来、それぞれの目的に合わせ設計され相互に互換性がなかったが、インターネットの時代になって相互に利用することが現実的となってきた。

- ❁ 体裁は読者が好きに選べば良い



印刷不況の中業績絶好調2000-2003

- ❁ 次々と英文誌のオンラインジャーナル化の仕事がくる
 - もちろん、印刷もついてくる
 - 出入り業者とイギリスツアー
- ❁ 人材確保も可能に
- ❁ これで一安心

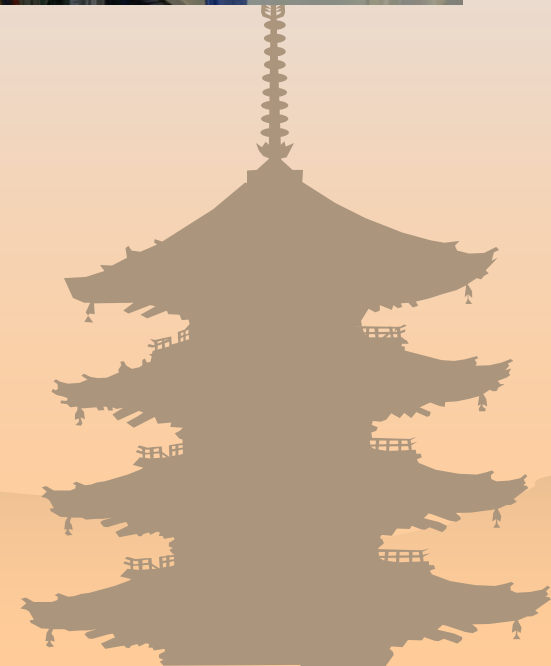
❁ かと思ったら



出入り業者とイギリスツアー

インドショック

- ❁ 2003年夏 定例のOxford訪問
- ❁ 組み版方針の転換
 - イギリスの工場の閉鎖
 - ヨーロッパ・日本からも組み版引き揚げ
 - インドへ集中させる
 - 圧倒的な低価格 人件費 日本の1/20
 - 世界を制する技術力
 - 英語が母国語ともいえる環境



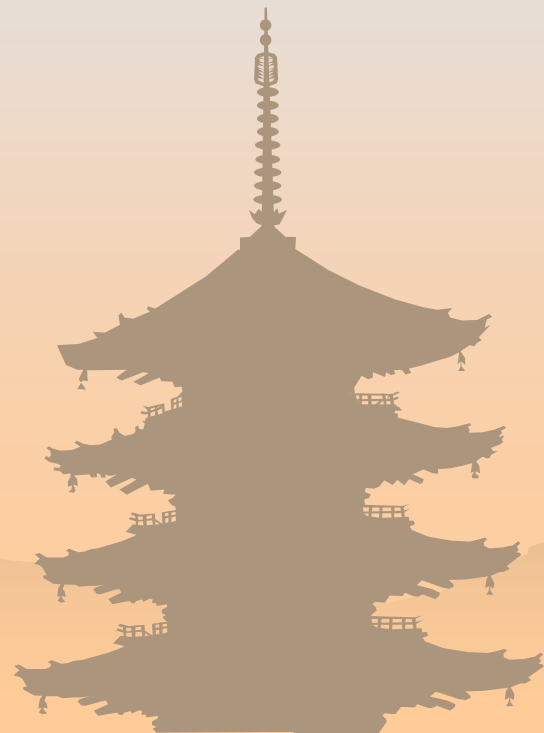
インド発注への挑戦と挫折

- ❁ インドの会社への発注
 - またもや提携
- ❁ 日本の学会の理解を得られず
- ❁ 英語の壁
 - 英語の本に日本語の校正
- ❁ インド側も大量発注を希望



業績悪化

- ❁ とめられないインド流出
 - ー 日本では印刷するだけ。ハイテクインド ローテク日本
- ❁ 紙の雑誌の廃止・削減
- ❁ 他の海外出版社も日本に興味なし
- ❁ 日本のオンラインジャーナル(英語誌)のみに
- ❁ 悪条件続出
 - ー 役所の入札励行
 - ー 2007年業績の急激な悪化
 - ー 2008年リーマンショック
 - ー あいつぐ印刷会社倒産



日本語オンラインジャーナルだ!

J-STAGE | My J-STAGEとは? | ログイン | 新規登録 | ショッピングカート | ヘルプ

日本消化器外科学会雑誌
The Japanese Journal of Gastroenterological Surgery

ONLINE ISSN: 1348-9372 PRINT ISSN: 0386-9768 2014年03月29日現在 収録数: 9,451記事

記事 巻号頁 DOI/JC

資料の中を検索します。

閲覧する 論文投稿する このジャーナルについて 発行機関について

最新巻号 早期公開

J-STAGE トップ > 資料トップ > 全文HTML

日本消化器外科学会雑誌
Vol. 47 (2014) No. 3 p. 165-172

記事言語 Japanese ▼

DOI <http://dx.doi.org/10.5833/jjgs.2013.0086> Jor DN/JST.JSTAGE/jjgs/2013.0086

原著

全文 図表(3) 引用文献(22)

原著

門脈内ガス血症における重症度診断に寄与する因子の検討

黒川 剛史¹⁾, 門脇 嘉彦²⁾, 中山 晴輝³⁾, 松山 重成⁴⁾, 田村 竜二³⁾, 森 岳樹³⁾, 沖野 毅⁴⁾, 中山 伸一⁴⁾

1) 兵庫県災害医療センター救急部 2) 神戸赤十字病院外科 3) 神戸赤十字病院放射線科 4) 神戸赤十字病院病理科

Ⓜ J-STAGE公開日 2014/03/26

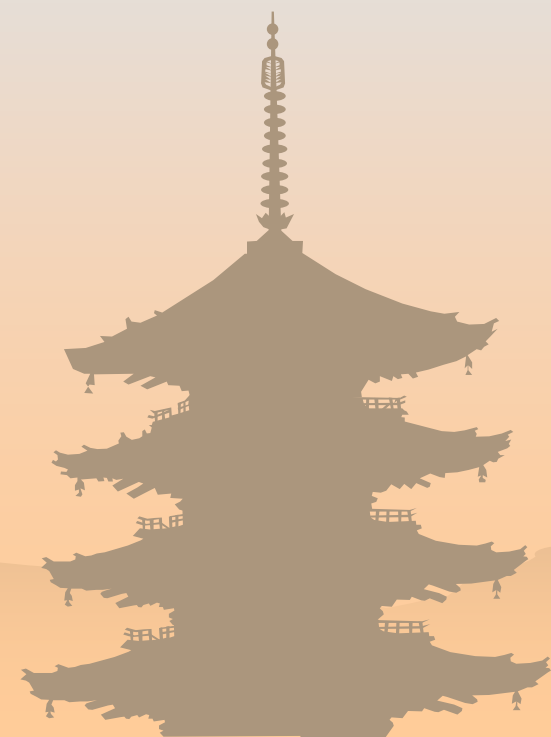
キーワード: 門脈内ガス血症, 腸管囊胞性気腫症, 上腸間膜静脈内ガス

本文PDF [1411K]

Index

▼ Abstract

🌸 日本国内からの発信がJ-STAGEへ集約



日本語XML(DTD)の開発に関与

- ❁ NLM-DTDから JATSへ 後の時実先生に詳しく
- ❁ 10年前のSGMLの遺産が、日本語化プロジェクトに結実。
 - 不況時にも採用し続けた人材が活躍
- ❁ ワーキンググループ(SPJ XSPA)への参加。
- ❁ ➡ XSPA提案が国際規格に。
- ❁ 日本語オンラインへの関心の高まりとともに、受注の増加

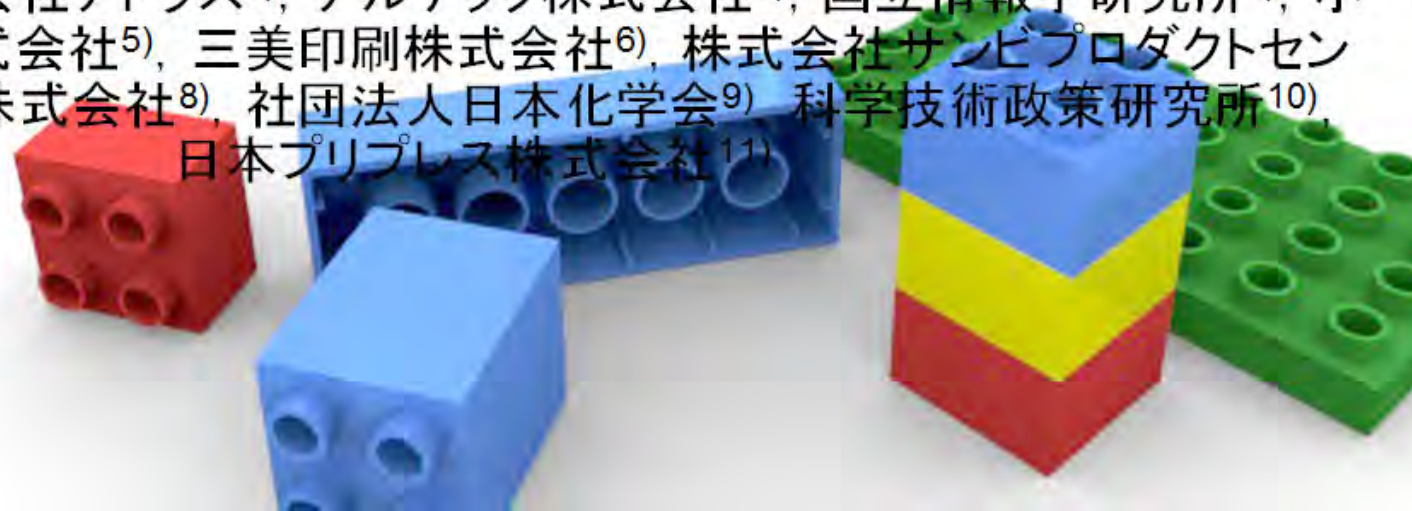


NLM DTD から JATS へ: 学術論文から多言語 XML 作成

2011. 10. 27

時実象一¹⁾, 井津井豪²⁾, 近藤裕治²⁾, 鶴貝和樹²⁾, 三上修²⁾, 野沢孝一³⁾, 堀内和彦³⁾, 大山敬三⁴⁾, 家入千晶⁵⁾, 小宮山恒敏⁵⁾, 稲田隆⁶⁾, 竹中義朗⁶⁾, 黒見英利⁷⁾, 亀井賢二⁸⁾, 楠健一⁸⁾, 中西秀彦⁸⁾, 林和弘^{9,10)}, 佐藤博¹¹⁾

愛知大学¹⁾, 株式会社アトラス²⁾, アルテック株式会社³⁾, 国立情報学研究所⁴⁾, 小宮山印刷工業株式会社⁵⁾, 三美印刷株式会社⁶⁾, 株式会社サンビプロダクトセンター⁷⁾, 中西印刷株式会社⁸⁾, 社団法人日本化学会⁹⁾, 科学技術政策研究所¹⁰⁾, 日本プリプレス株式会社¹¹⁾



2012年7月世界初の和文オンラインジャーナル

食道gastrointestinal stromal tumorに横隔膜上食道嚢を併発した1例

谷峰 直樹¹⁾, 畑中 信良²⁾, 吉川 孝伸²⁾, 清水 洋祐²⁾, 遠藤 俊治²⁾, 西谷 曉子²⁾, 三隅 俊博²⁾, 中島 博²⁾

1) 広島大学大学院医歯薬学総合研究科創性医科学専攻先進医療開発科学講座外科学 2) 国立病院

田 J-STAGE公開日 2012/08/20

FREE PDF 本文PDF [2039K]

Index

- ▼ Abstract
- ▼ はじめに
- ▼ 症例
- ▼ 考察
- ▼ 文献

Abstract

症例は36歳の男性で、健診の胸部X線検査にて異常陰影を指摘された。精査にて左横隔膜腫瘍発生臓器の特定は困難であった。潜在的悪性度を考慮し手術を行った。腹腔鏡下観察困難に食道左側に突出する腫瘍を同定した。食道嚢室を基部とした腫瘍と判断し、嚢室切除に準じた検索にて中リスク群gastrointestinal stromal tumor(以下、GISTと略記)と診断した。手術GISTの存在が嚢室形成に関与した可能性を考えた。食道GISTは術前確定診断困難な場合も切除方法も個々の症例においてさまざまである。本症例は特殊な発生様式であったため、食

あった。我々は食道嚢室を併発したまれな食道GISTの1例を経験したので考察を加えて報告

はじめに

Gastrointestinal stromal tumors(以下、GISTと略記)は頻度の多い消化管原発間質性腫瘍として知られている。しかし、胃や小腸およびその間膜を原発とすることが多く、食道原発GISTは1~2%程度とまれである¹⁾。食道原発GISTは漿膜を有さない。その構造的特性および解剖学的位置により、手術侵襲が大きなものとなるが多く、切除方法に苦慮する症例が少なくない²⁾。また、術前に病理診断および悪性度を正確に判断することは困難であることから定型的な切除術式は確立していない³⁾⁴⁾。我々は横隔膜上食道嚢室を併発した食道GISTに対し嚢室切除にて摘出した、まれな1例を経験したので、文献的考察を加えて報告する。

上部消化管内視鏡検査所見:腫瘍性病変は同定されず、胃食道接合部直上左側への内腔の突出を認めた。突出した内腔の観察は十分でなかったが、胃食道接合部胃粘膜の突出腔内への引き込み所見を認めたため、食道裂孔ヘルニアと診断した(Fig. 3)。

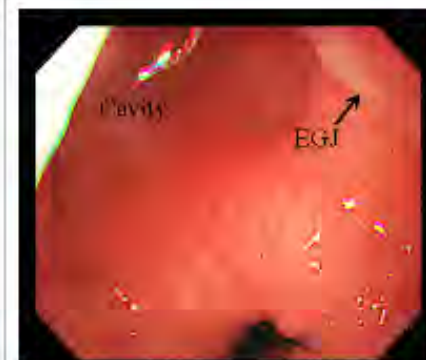


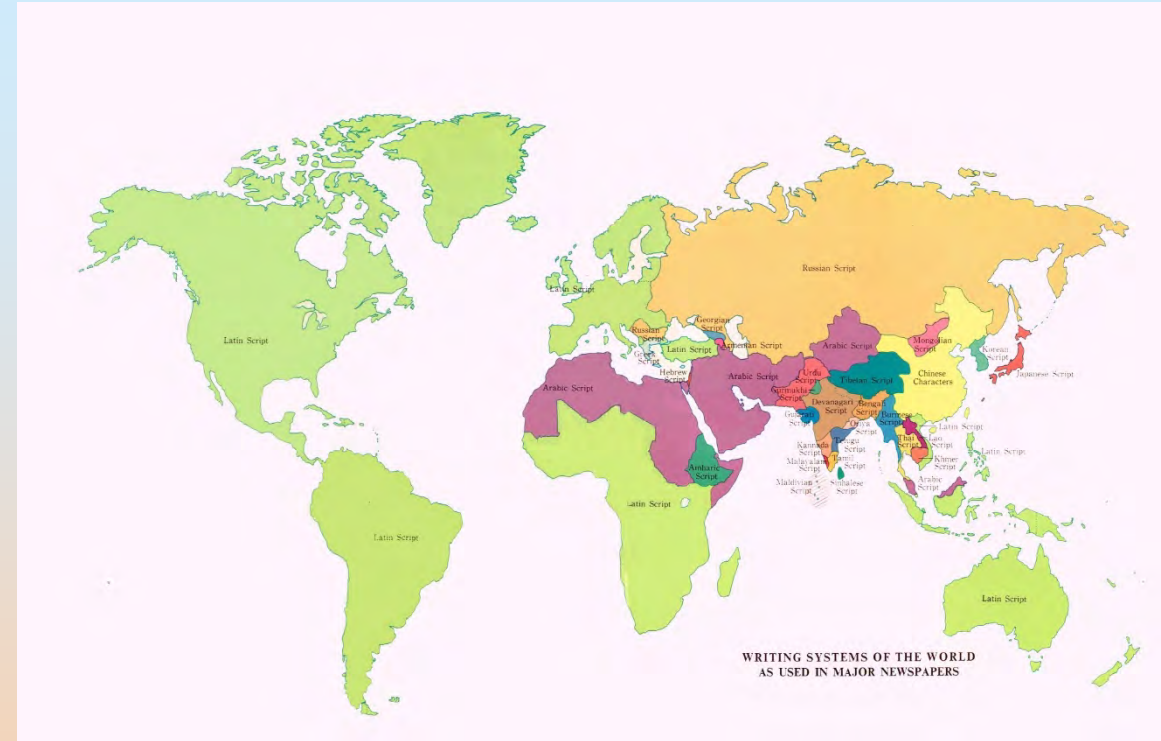
Fig. 3

Upper gastrointestinal endoscopy showed no submucosal tumor. It only showed a cavity overhanging the left side of the esophagogastric junction (EGJ). This part of the gastric mucosa was drawn into protuberant cavity. This was diagnosed as hiatal hernia.

▲ Page top

▲ Page top

国際会議での発表

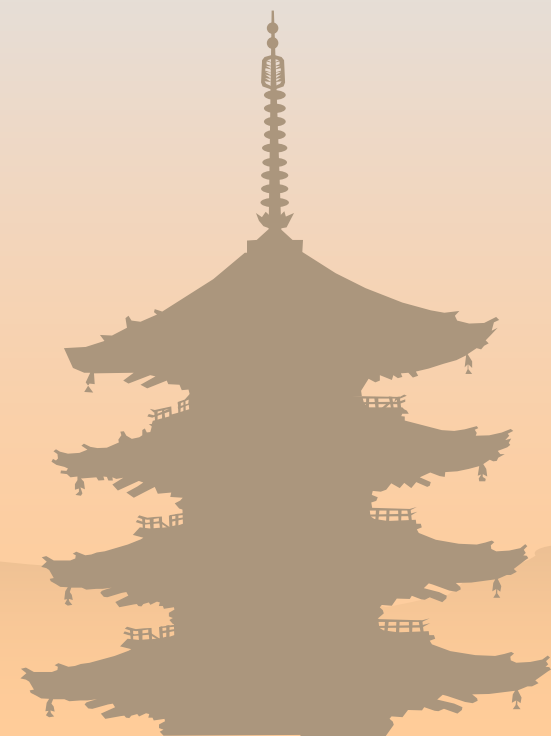


反響を呼んだ世界の文字分布。ラテン文字だけが文字ではない

ワシントンで日本語オンラインジャーナルについて発表 2015.4

日本語オンラインジャーナルが普及しない

- ❁ 「やっぱり紙で読みたくなりますよ」
- ❁ 「プリントアウトして読むからHTMLより、PDFの方がいい」
- ❁ 「HTMLはレイアウトがちゃんとしていない。誌面見開きでの美しさを追及していない」
- ❁ 「印刷屋がなんでそんなものを推奨するんだ」
- ❁ 「日本語組版の本質は縦書きでしょう」



J-STAGEへの和文縦書き誌掲載

J-STAGE | My J-STAGEとは? | ログイン | 新規登録 | ショッピングカート | ヘルプ | Japanese > English

印度學佛教學研究

日本印度学仏教学会
ONLINE ISSN: 1884-0051 PRINT ISSN: 0019-4344
2017年10月22日現在 収録数: 13,151記事

記事 巻号頁 DOI
資料の中を検索します。 検索 詳細検索

閲覧する 発行機関について
最新巻号

J-STAGE トップ > 資料トップ

巻号
ジャーナル

印度學佛教學研究

最新巻号

巻号一覧
印度學佛教學研究

- Vol.65(2016 - 2017)
- Vol.64(2015 - 2016)
- Vol.63(2014 - 2015)
- Vol.62(2013 - 2014)
- Vol.61(2012 - 2013)
- Vol.60(2011 - 2012)
- Vol.59(2010 - 2011)
- Vol.58(2009 - 2010)
- Vol.57(2008 - 2009)
- Vol.56(2007 - 2008)
- Vol.55(2006 - 2007)
- Vol.54(2005 - 2006)
- Vol.53(2004 - 2005)
- Vol.52(2003 - 2004)
- Vol.51(2002 - 2003)
- Vol.50(2001 - 2002)
- Vol.49(2000 - 2001)
- Vol.48(1999 - 2000)
- Vol.47(1998 - 1999)
- Vol.46(1997 - 1998)
- Vol.45(1996 - 1997)
- Vol.44(1995 - 1996)
- Vol.43(1994 - 1995)
- Vol.42(1993 - 1994)
- Vol.41(1992 - 1993)
- Vol.40(1991 - 1992)

印度學佛教學研究 Vol. 65(2016 - 2017) No. 1

全ての抄録を開く

止観研究の歴史とその現代的意義 p.1-10
数輪 顕量
公開日: 2017年10月17日
抄録 本文PDF[2022K]

法連賢聖経経註について
——伏文より取られる特徴と最澄への影響—— p.11-18
伊吹 敦
公開日: 2017年10月17日
抄録 本文PDF[1953K]

初期日本天台における『無量義経』の位置付け p.19-25
木内 義大
公開日: 2017年10月17日
抄録 本文PDF[1816K]

浄土律師の戒律観について p.26-33
藤谷 厚生
公開日: 2017年10月17日
抄録 本文PDF[1814K]

大沢屋春範の教学 p.34-39
林山 まゆり
公開日: 2017年10月17日
抄録 本文PDF[1830K]

法然『選択証誠』成立考
——『法華経』如来遍照法』をめぐって—— p.40-44
南 定信
公開日: 2017年10月17日
抄録 本文PDF[1794K]

システムメンテナンス
・システムメンテナンスのため、以下の時間帯にサービスを停止させていただきます。
平成29年
10月28日(土) 7:00 ~ 17:00
※作業終了次第時間内でもサービスを再開いたします。
詳細

J-STAGEからのお知らせ
・2017年10月20日
H29年度投稿審査システム募集案内を掲載しました。(詳細はこちら)
・2017年10月01日
1. 「利用学協会様向けの改定後の利用規約(平成29年10月1日施行)を掲載しました。(詳細はこちら)」
2. 「J-STAGE利用者満足度調査アンケートの結果を掲載いたしました。(詳細はこちら)」
・2016年05月18日
新しい画面インターフェース「J-STAGEβ(ベータ版)」
<https://stagebeta.ist.go.jp/> を公開しました。
BETA J-STAGE
・2015年05月01日
J-STAGEを頼った「なりすましメール」にご注意ください
バックナンバー

ジャーナルツール

NII-ELSからの
移行も含める。

65巻1号から
HTML掲載



J-STAGE

My J-STAGEとは? | ログイン | 新規登録 | ショッピングカート | ヘルプ | Japanese > English

印度學佛教學研究

日本印度學仏教学会

ONLINE ISSN: 1884-0051 PRINT ISSN: 0019-4344 2017年10月22日現在 収録数: 13,151記事

記事

巻号頁 DOI

資料の中を検索します。 検索 詳細検索

閲覧する

発行機関について

最新巻号

J-STAGEトップ > 資料トップ > 書誌事項

印度學佛教學研究

Vol. 65 (2016-2017) No. 1 p. 65-71

DOI http://doi.org/10.4259/jwk.65.1_65

『教行信証』における『往生礼讃』引用の意義について

貫名 譲¹⁾

1) 大阪大谷大学

公開日 20171017

キーワード: 『教行信証』、『往生礼讃』, 『行巻』, 大行としての念仏

本文PDF [1825K]

抄録

引用文献(5)

In the "Chapter on Practice" of the *Kyōgyōshinshō* 教行信証, Shinran 親鸞 cites Shandao's 善導 subcommentary, the *Wangsheng lizan* 往生礼讃, instead of his major work, the *Guanjing shu* 観経疏, to discuss his understanding of the Great Practice (Daigyō 大行). The *Wangsheng lizan* primarily focuses on the Pure Land Buddhist practices of "worship" and "praising." Shinran cites this text to demonstrate the special characteristic of the "Great Practice." It is not a practice in which sentient beings "express their devotion with recitations of Amitābha's Name." Rather, it is Amitābha's "working" to guide sentient beings to true and real faith. In other words, the *nembutsu* as the praising of the virtues of Amitābha by the various Buddhas and good Dharma teachers becomes the voice of *nembutsu* recommending (teaching) people who have yet to encounter Amitābha Buddha.

本文PDF [1825K]

Copyright © 2016 日本印度學仏教学会

ページトップへ

記事ツール

お気に入り登録

被引用アラート

認証解除アラート

追加情報アラート

URLコピー

著者にメール

書誌事項をダウンロード

RIS

BibTeX

ヘルプ

問い合わせ

この記事共有

メールで知らせる

はじめに

『教行信証』における『往生礼讃』引用の意義について

貫名 譲

観鸞は、『教行信証』において善導の文を数多く引用しているが、『行巻』とそれ以外の巻、とりわけ『信巻』とでは、引用の仕方に大きな差異が見られる。『信巻』では善導の本流と言われる『観経疏』からの引用がほとんどであるのに対し、『行巻』では具疏とされる『往生礼讃』からの引用が多い。『教行信証』全体で見ると、『往生礼讃』からの引用は重複も含めて十九文である。そのうち『行巻』に八文ある。量でもって表すと、『行巻』に引かれた量に対して『信巻』はその約四分の一、「化巻」は約五分の一である。ちなみに『観経疏』についてみると、『信巻』では『観経疏』からの引用がほとんどであり、『行巻』は『信巻』の約十分の一に過ぎない。このことからしてみても、『行巻』における『往生礼讃』引用については特異であることがわかる。本論においては、『教行信証』の『行巻』大行釈に重点を置いて、『往生礼讃』引用の意義をうかがってみたい。

なお、『教行信証』引用の『往生礼讃』については、習野の『集諸経礼讃儀』によるところが多い。今回は、観鸞が『往生礼讃』をもつて表そうとした意義に焦点を置いて捉えたいと思うので、『集諸経礼讃儀』との比較については稿を改めて問題にしたい。

一 大行釈引用の『往生礼讃』

『行巻』大行釈には『往生礼讃』からの文として五つある。順に見てみたい。

(一)

光明寺の和尙のいはく「また『文殊般若』にいふごとし。へ行三昧を明かさんと欲。ただ勤めて、独り空閑に処してもろもの乱意を捨てて、心を一仏に依けて相観を觀ぜず。もつぱら名字を稱すれば、すなはち空のなかにいいて、かの阿彌陀仏おひ一切の仏等を見ることを得」といへり。

同一論文の
HTMLとPDF表示

抄録は本誌では別途ま
とまって掲載されている

縦横変換



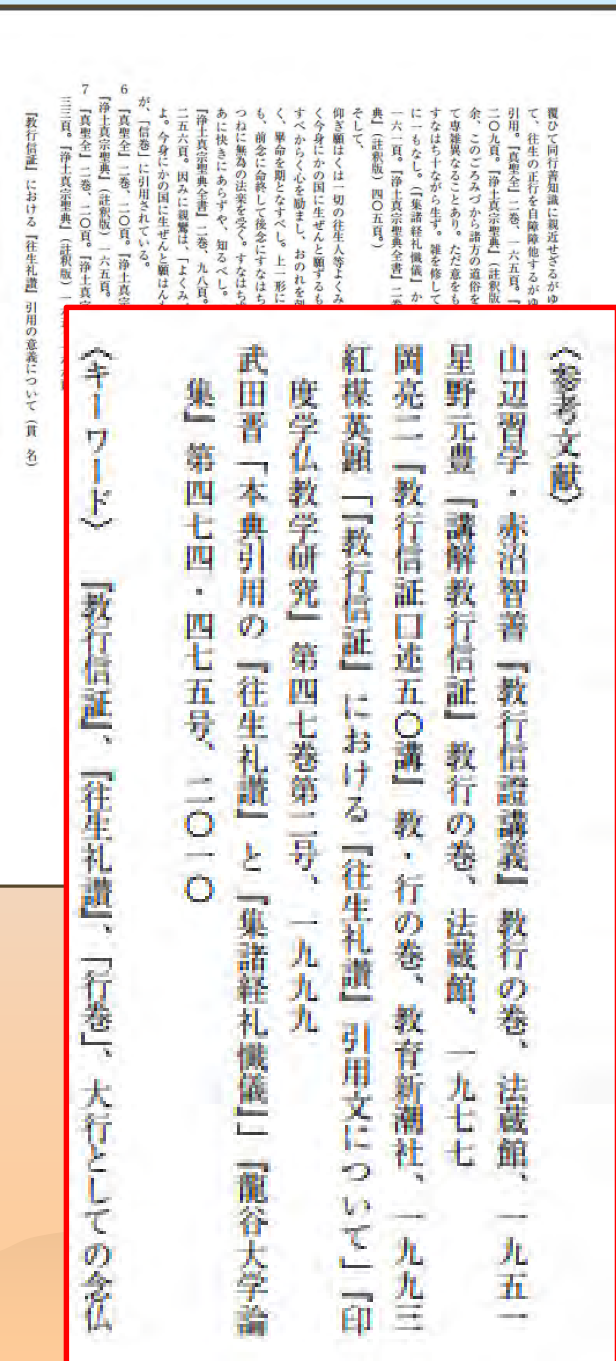
山辺習学・赤沼智善『教行信証講義』教行の巻、法蔵館、1951

星野元豊『講解教行信証』教行の巻、法蔵館、1977

岡亮二『教行信証口述五〇講』教・行の巻、教育新潮社、1993

紅樫英顕『『教行信証』における『往生礼讃』引用文について』『印度学仏教学研究』第47巻第2号、1999

武田晋「本典引用の『往生礼讃』と『集諸経礼懺儀』」『龍谷大学論集』第474・475号、2010



書誌XMLの作成

- ❁ IndesignによるXML書き出し
- ❁ 縦書き記述の横書きへの変換
 - 数字の漢数字→アラビア数字変換
 - 一括変換で生じる誤変換
 - 「1乗宝性」「念仏3昧」とは書けない
 - 「1郎」も無理
- ❁ そもそもJATSが縦書きに対応していない



縦書きJATS提案

- 宗教論文のJATS適用例検討
 - 必要ならば新タグ提案
 - 東アジア漢字文化圏共通提案たりうる
- JATS-CON2018での提案
 - ⚙ <article writing-mode = "vertical">
- ⚙ 方向指定拡張 2020提案予定
 - horizontal-lr 左横書き ラテン文字 ギリシア文字
 - horizontal-rl 右横書き アラビア文字 ヘブライ文字
 - vertical-rl 右縦書き 漢字 日本語 韓国語
 - vertical-rl 左縦書き モンゴル語



Thank you

